

メーソンの言葉

この「互いを認識し合うための秘密の合図であるメーソンの言葉」とは同書の注釈によると「もともとスコットランドの実践的メーソンたちが、相互確認のために用いた秘密の合図や握手法や仕草などで、参入儀式において伝授された。やがてこれが思弁的メーソンにも普及していった。」とあります。

フリーメーソンは第1位階から33位階の階層があります。フリーメーソンはその発足から現在に至るまで、階層を一つ一つ上がる度に、メーソン同士が互いに認識し合う秘密の言葉や握手法や仕草が伝授されるようです。

度々目にするものがある、風変わりなあのフリーメーソン特有の握手や仕草や言葉です。この秘儀を部分的にシンクレア家が世界の石工組合（メーソン）に伝授していたわけです。

フリーメーソンにおけるシンクレア家の立ち位置が窺えます。一般的にいう「中世欧州の石工組合（メーソン）が近代フリーメーソンの母体になった」という説に従うと、その石工組合（メーソン）を作ったのがシンクレア家ということになります。